

出展計画

【出展概要】

「130万分の1からの発信」

熊本の豊かな地下水は、市民の暮らしを支え、多様な動植物や農産物を育み、地域の文化や営みの基盤となっています。熊本では、水源涵養や森林・草原の保全、農業との連携など、先人から受け継がれてきた取り組みにより、水と自然の循環を守り育んできました。また、二度の熊本地震を経験しながらも、人と自然とのつながりを力に変え、未来へ向かって歩み続けています。その中で培われた支え合いの心や未来を切り拓く力は、地域の大切な財産となっています。自然を尊重し、その恵みを受けながら共に生きること。そして、この豊かな自然を次の世代へ引き継ぐため、市民一人ひとりが日々の暮らしの中で行動を続けることが、「幸せを創る明日の風景」につながります。地球全体から見れば、熊本市の市域はわずか「130万分の1」。しかし、この小さな地域で生まれる一つひとつの行動や循環は、やがて地域を越え、地球の未来へとつながっていきます。

「130万分の1」の熊本から始まる小さな循環が、地球の未来を支える大きな循環へ。

熊本から、自然と共にある心豊かな暮らしを発信し、地域から地球へと広がる持続可能な未来の風景を体感する庭を創出します。

出展イメージ

阿蘇の大地から始まる
熊本ならではの
「水循環」を表現

水の恵みに育まれた熊本の
「まち」を象徴し、人と自然の
つながりを表現



特記事項

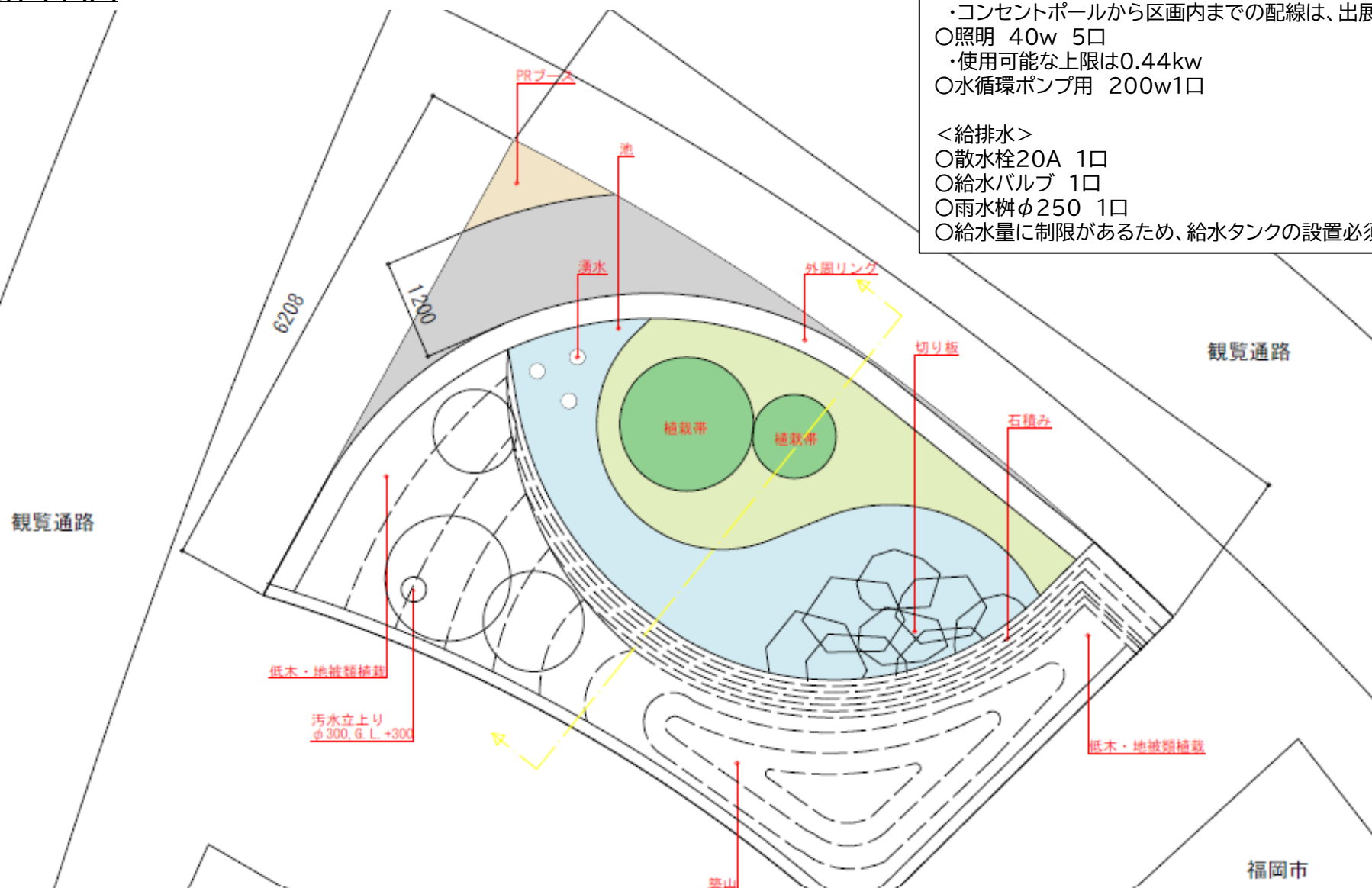
- | | |
|-----------|--|
| 令和7年3月 | 若手造園技術者(行政、企業、学生等)によるワークショップ【基本構想】 |
| 令和8年4月～8月 | 若手・熟練造園技術者(行政、企業等)によるワークショップ【基本設計】 |
| 令和9年2月 | 熊本×神奈川、若手×熟練技術者での合同施工(予定) |
| 令和9年3月～9月 | パネル展示や体験型コンテンツ等
熊本市内でのイベント開催(予定) |
| 令和9年10月～ | 若手技術者成果報告会くまもと花博と
連携した庭園コンテスト開催(予定) |



「阿蘇→地下水→暮らし
→川→海→世界」へと
広がる水の流れによって、
地域と地球は
別々のものではなく、
一つの大きな循環の中で
つながっていることを
表現

出展計画

全体平面図



<電気>

○コンセント 200w 2口

・コンセントポールから区画内までの配線は、出展者にて施工

○照明 40w 5口

・使用可能な上限は0.44kw

○水循環ポンプ用 200w1口

<給排水>

○散水栓20A 1口

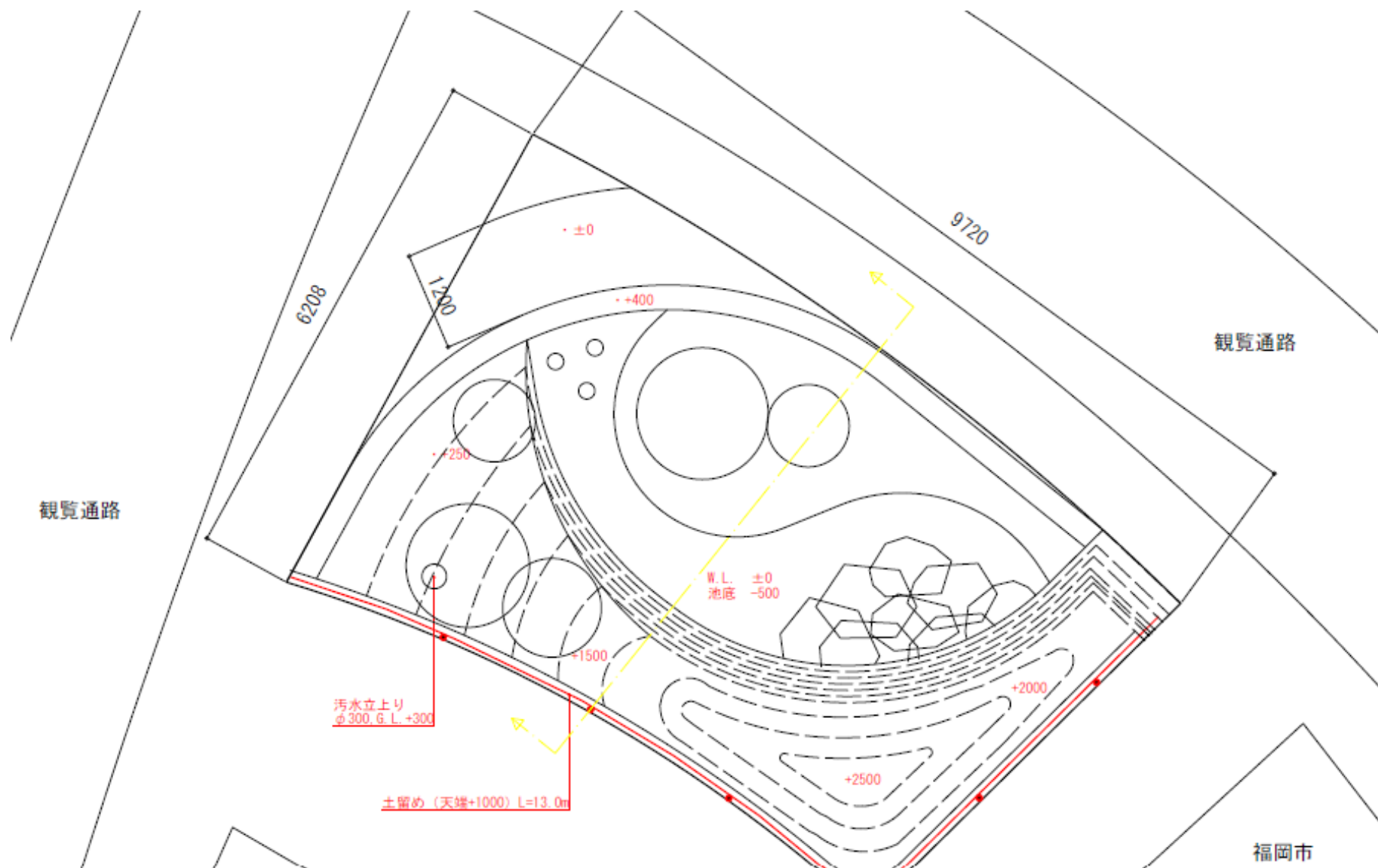
○給水バルブ 1口

○雨水枳φ250 1口

○給水量に制限があるため、給水タンクの設置必須

出展計画

基盤平面図



出展計画

立面图

